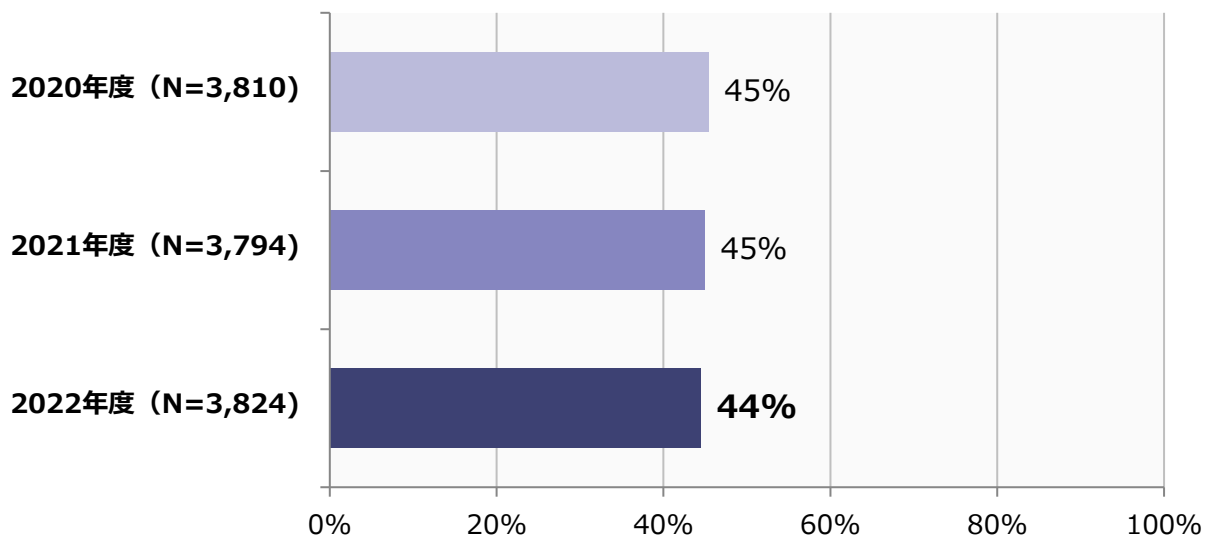


手術時間が予定より延長した手術の割合

予定手術の手術前に申告された予定時間と実際の所用時間を比較して、手術室が効率的に運用されているかを検討します。

ハード面・ソフト面ともに制約のある当院においては、手術室を効率的に運用することにより、手術件数増加・コスト削減が期待でき、病院経営上有益です。

また、適切な手術時間は手術を受ける患者にとっても、術後感染症／合併症防止に有益と言えます。



当院値の定義・算出方法

分子： 手術時間が申告時間を超過した予定手術症例数
分母： 手術時間が申告されている予定手術症例数

$$\frac{\text{分子}}{\text{分母}} \times 100 (\%)$$

※グラフ中のN数は分母の値を示しています。

結果の考察および今後の取り組みについて

手術部運営会議での実績報告や、毎週行われる手術部編成会議において各科に協力依頼を継続しています。また、手術室内に前の週の手術室利用状況を貼り出しその都度確認してもらっています。

手術延長割合は、昨年とほぼ同様の45%ですが、予定時間が2時間以上延長、予定時間の1.5倍以上延長した症例が増加傾向にあります。麻酔・手術の難易度・高度化に加え、手術編成の際に情報の共有ができておらず円滑に手術が施行できていないことが考えられます。引き続き、麻酔・手術の各マニュアルの改定を適宜行い、手術が円滑に施行できるよう努めていきます。

文責：麻酔科主任部長
吉村 速